

「医療現場で見る 10代の妊娠と課題」

女性クリニックWe! TOYAMA院長・産婦人科医 種部恭子

私は10代の妊娠出産に長く向き合い、思春期の子どもたちを見ることをライフワークにしています。性を取り巻く現状はとて変化していて、最近病院に来る子は暴力絡みの子が多い。私は高校生が性交をすること、性の方にベクトルが向くことは健康な発達をしていないとできないと思っています。

愛があれば性行為してもいい？

これは2007年ごろのデータです。富山県は、性教育の先進県です。富山市ではすべての中学生が性教育を受けており、全員が緊急避妊を知っています。その中学校2年生から高校生の男女に、性交の自由度を人ごととして話してもらいました。中学生高校生でも愛があればエッチをしていいかどうか聞きます。中学校3年生くらいになると男子も性的な興味がわきます。そして、高校1年生になると、男子が女子を抜きます。そして、高2高3とやりたいという男子が増えるわけですね。ホルモンが働けば性的なベクトルが向くのは健康なわけで、私はこの人たちが「愛があれば性行為をしてもいい」と肯定しているのは、自分たちは性的、精神的に発達したという風に考えているので行為をするかどうかがいいかどうかという話しではなくて、心の発達というレベルだと思っています。

